



# 楡紅葉 (はぜもみじ)

発行：令和6年3月29日（金）（文責） 校長 田中 克三



カラー版は学校ホームページでご覧になれます。QRコードはこちら→

## 雲の上には、晴れ渡る空が広がっている…

第77回 卒業証書授与式 ～ R6.3.8 第77回卒業証書授与式 ～



【校長式辞 抜粹】これから進む新しいステージでますます活躍することを願って、私から「はなむけ」のメッセージを贈ります。それは、「雲外蒼天（うんがい そうてん）」ということばです。「雲外蒼天」は、文字通りの解釈をすると、「雲を突き抜けた上には晴れ渡る青空が広がっている」という意味になります。もし皆さんが、今、これから未来へと進むエネルギーに満ち溢れている状態ならば、**信じた道に己の力をあきらめず**に、雲を突き抜け、その先にある新しい景色を目にしたいと思えます。しかし、もし皆さんが、さまざまな困難や悩みがあって、毎日もやもやしている状態ならば、今は雲がかかって苦しい時期だけれど、雲の上には広々とした青空が広がっている・・・そのことを信じて一歩ずつ歩みを続けていけば、必ず視界が開けるときがあると、この言葉を添えて励ましたいと思います。

「雲外蒼天」の言葉が示すように、雲の上では、常に日が差している、つまり、諦めずに一歩ずつ登っていけば、どんな困難でも乗り越えた先には輝く未来が待っている、そして、歩いてきた後には道ができていくということを忘れないでほしいと思えます。

【送辞：在校生代表 抜粹】大切なのは、私たちがどのように取り組んだのか。どんなに大変でも、くじけずに最後まで全力でやりぬくこと。ひとりではできなくても、皆で協力すれば、どんな困難でも乗り越えられること。先輩たちの姿を見て、一生懸命に何かにかんがうことは、はずかしいことではなくかっこいい、と心からそう思いました。私たちはまだまだ未熟ですが、先輩たちが築き上げてきた中原中学校の伝統を守り、さらに良くなるように全力を注ぎ発展させていきます。先輩方が教えてくださった改革の心と全力で取り組む情熱を胸に、困難なときも勇気を出し、自分の力を信じて、前に進んでいきます。先輩の背中を追いかけてきたただけだった私たちも、必ず成長してみせます。

【答辞：卒業生代表 抜粹】私たちがこうして成長することができたのは、悩んだ時に、多くのアドバイスを授けて下さった先生方や登下校を温かく見守って下さった地域の方々のおかげです。そして、いつもそばで励ましてくれた家族。私たちのことを第一に考え、一番近くで応援してくれてありがとうございます。将来のことや、人間関係のことで悩んだときは、一番の味方でいてくれたおかげで今の私たちがいます。最後に、ここで誰よりも多くの時間を共有してきた仲間たち。声が出ないくらい笑ったり、喧嘩をしたり、そして仲直りを繰り返したりすることで、互いのことを理解し合い、絆を深めてきました。勉強やスポーツでは、仲間であると同時に、ライバルとして、互いに支え合い、切磋琢磨してきました。他愛もない話で、教室を笑顔いっぱいにした毎日は、一生忘れられない思い出です。あの授業も、あの放課後も、あの帰り道も、全部が、かけがえのない時間でした。この素晴らしい学舎で皆さんと過ごした一瞬一秒が、私たちの宝物です。どんなときも一緒に居てくれて、本当にありがとう。

今日でこの学舎からの旅立ちかと思うと、言葉にできないさびしさと感謝の気持ちでいっぱいです。今日私たちは卒業し、新しい道を歩み始めます。正直、不安でいっぱいですが、中原中学校での学びを活かし、前へ進んでいきます。

## この場所を築立つ思い出に

### ～PTA 卒業メッセージボード～

体育館での卒業式を終え、卒業生と担任が教室で最後の学級活動を行っている頃、昇降口の前の駐輪場付近では、PTA役員の方が、記念撮影スポットとなる「卒業メッセージボード」を設置する作業を行いました（写真）。



「何か、卒業生の思い出に残るものを準備してあげられないか」という思いからPTA企画委員会で検討。数日前から制作・準備を重ねておられました。

卒業生とその保護者向けのサプライズとなるようにギリギリまで隠しておいて、短時間で設置。澄み渡る青空のもと、卒業生たちは思い思いにボード前で記念撮影。友人・保護者・恩師と中学校生活最後の思い出を写真に収めておりました。

企画に関わっていた役員の方、本当にありがとうございました。



【設置したメッセージボード】

## 教を胸に、これから前に

### ～3/22 転退職職員 離任式～

3月22日（金）、令和5年度の修了式に引き続き、年度末の教職員人事異動により 3月末に転退職する職員の離任式を行いました。

離任する職員一人一人から、中原中での勤務の思い出と惜別の思い、そして、在校生に向けての激励の言葉をいただきました。生徒会からは、これまでの感謝の気持ちを込めた手紙を読み上げ、花束とともに手渡しました。中には感情がこみあげ、涙する生徒も…。

転退職される先生方の未来がこれまで以上に充実したものになることを心からお祈り申し上げます。



【年度末に転退職される先生方】

体育館での離任式後、学年担当職員はそれぞれの学年での集会に向かいました。

新年度に最上級生となる2年生の学年集会をのぞくと、転退職される先生方の「最後の授業」が行われていました。



【一言も聞き逃さぬように…】

学年主任を務めた上田教諭からは、「学校で学ぶ最大の意義は人と関わること。共に励まし協力して何かを成し遂げたり、けんかしたり仲直りしたりすることを繰り返しながら残りの1年で大きく成長してほしい。そして、それぞれの進路に向けて歩いてほしい。」と熱いメッセージ。姿勢正しく上田教諭の方へ体を向ける生徒たちの背中は、最上級生となる自覚を新たにしたことを物語っておりました。

## 音楽の魅力存分に披露

### ～3/24 吹奏楽部校内コンサート～

3月24日（日）の午後、本校体育館で吹奏楽部の 部内コンサートが開催されました。この1年間、活動してきたことの集大成として、お世話になった関係者を招待。卒業した3年生3名も加わり、ポップな楽曲も含め9曲を披露しました。

開催を告げるポスターや飾りつけ、当日の司会進行等もすべて部員やその保護者が担当。手づくり感あふれる、温かい雰囲気でのコンサートになりました。

演奏だけでなく、歌あり、ダンスあり、楽器クイズあり、お楽しみ抽選会ありと内容も盛りだくさんで、音楽の魅力と部員の人柄を存分に味わえるひとときでした。



令和5年度も本校の教育活動に御理解・御支援いただき、心より感謝申し上げます。来年度もよろしくお願いいたします。